



栃木 正則 議員



録画映像

町内会・自治会活動の活性化に関する件

問 市は、町内会・自治会活動の活性化を図るため、デジタル活用した事業を今後、予定しているのか

答 市長
町会連合会と連携してスマートフォン教室の開催などの既存事業を継続するほか、デジタルに係る経費の支援に関し、町内会活動活性化交付金の見直しを検討してまいりたい

問 北斗市においても近年、市民の利便性、庁内業務の改善や効率化を目的とし、DX推進プロジェクトチームを立ち上げるなど、デジタル化に向けた取り組みを進めていると思います。

北斗市内の町内会・自治会においても、デジタル化に向けた取り組みを始めており、町内会も見られるようになってきており、情報発信や役員会の連絡・情報共有を行う際に、SNSなどデジタル技術を用

活用していることもあるかと思えます。町内会・自治会活動に対する市民の理解を高めるためにも、市としてもデジタル化に向けた取り組みに対するサポートが必要になると感じています。

市は、町内会・自治会活動の活性化を図るため、デジタルを活用した様々な取り組みを関連各所と連携して行っていると思いますが、これまでに取り組んでいる事業と課題、今後予定していることがあれば教えてください。

答 (市長) 町内会・自治会は、地域のコミュニティ推進や安全・安心の確保など、様々な自主的活動を通し、地域のまちづくりにご協力をいただいています。少子高齢化の進行やライフスタイルの多様化により、町内会・自治会への加入率の低下、役員の高齢化や担い手不足が課題となっており、町内会・自治会におけるデジタル化に向けた取り組みは、町内会・自治会の効率的な活動や役員の負担軽減、活性化に効果的であると考えています。

町内会・自治会の活性化を図るために実施している、デジタルに関連した市の取り組みとしては、町内会・自治会が、パソコンなどの通信機器を購入する際、経費の一部を助成する地域協働事業対策補助金の運用や市民からの町内会・自治会加入に関する、電子申請の受け付けの

ほか、町内会・自治会からのデジタル化の相談に対する助言を行っています。

また、市が事務局を担当する北斗市町会連合会では、通信会社やまちづくり団体との連携による、スマートフォン教室やライン講習会の実施、町内会・自治会のライン公式アカウント導入支援や北斗市商工会などの公式ラインと連携した町内会・自治会の加入促進に関する情報発信を行っています。

これらの事業の課題としては、町内会・自治会にデジタル化の推進を担う人材が不足していること、高齢者のスマートフォン所有率の向上やスマートフォンの操作の習得があげられ、また、デジタル化に慣れるまで、紙とデジタルの両方を作成する二重の手間が発生することなどがあげられます。

今後町内会・自治会のデジタル化を促進するため、町会連合会と連携して既存事業を継続して行うほか、デジタルに係る経費の支援に関し、町内会活動活性化交付金の見直しについて、検討してまいりたい。

問 市の町内会・自治会のデジタル化への取り組みは、加入率向上のためなのか加入されている方へのサービス向上を目指すしているのか、重点をどのように考えているのですか。

答 (市民課長) QRコードから電子申請

により気軽に新規に町内会加入ができることや加入されている方へサービスといえます。町内会活動の見える化に活用され、比重は50対50だと思います。

問 町内会等に継続して入ってもらうためにアプリを活用すべきと考えますが、各町内会でバラバラなアプリを使わないように、ある程度、市や町会連合会のほうで統一アプリの提案や推奨する事が必要ではないか。

答 (市長) 町内会や自治会なども、デジタル化は将来的には必要になってくると考えています。

市としても、町内会や町会連合会等から情報を聞きながら、なるべく運用方法や制限する部分など、共通化できるように調整し、協議をさせていただきたいと思



デジタル技術の活用の一例